

# 国語総合 臨時休業中の課題 Part 3

担当: 稲村

3回目の課題は以下の3つです。

- ① 課題プリント「挨拶上手」(内容「言葉と表現」「内容の理解」) 丸付けも
- ② 課題プリント「日本語のこころ」(教科書PP.44~P.48)
- ③ マナトレプリント10級(10枚) 丸付けも

## アドバイス

※ 書き抜き問題・記述問題などは、答えに自信が持てないこともあると思います。  
でも、間違ってもいいので「こうかな?」と思ったことを書いてもらえるとうれしいです。

※ 今回の課題①「挨拶上手」と③マナトレプリントには模範解答をつけています。  
丸付け・直しをしっかりと行いましょう。 課題②「日本語のこころ」に関しては、  
教科書をしっかり読み、調べながら空欄をつくらないように解いてみましょう。

※ 今回の課題も評価に含みます。

>評価の目安

[A・B・C]の3段階評価ならBというイメージ。

◎答えを見ずに解く、丸付け・直しを正しく行う、提出期限を守る = 普通

☆普通以上の評価を狙う場合・・・

丸付けの際に解説をメモしたり、まとめたりするなど、自分なりに工夫してみましょう。

(再度問題と向き合い、考えることが何より大切です!その足跡を残しましょう。)

◆丸付けをしていますが、間違っているのに○になっていたり、

答えを写して○にしていたりすると、評価にマイナスの影響を及ぼします。

※ 今回の課題は、学校再開時(6月)に回収する予定です。

わからない言葉は意味を調べるの  
も大事にや。がんばるのにや。



1年 組 番 氏名



挨拶上手 (言葉と表現)

※分からない時は調べてよい

一年 組 番 氏名

① 次の話を、カタカナを使わずに言い換えてみよう。

- 1 コミュニケーション ( )
- 2 ニックネーム ( )
- 3 マナー ( )
- 4 スマート ( )

② 「頭が下がる」のように「頭」を使った慣用表現を一つあげ、その意味を書こう。(思い浮かばない場合は、調べて書こう。)

慣用表現

意味

【例】「目」を使った慣用表現の例。

- ・ 目と鼻の先 【意味】すぐそば。
- ・ 目に入れても痛くない 【意味】非常にかわいがっていることのとたとえ。
- ・ 目を丸くする 【意味】驚いて目を大きく開く。

③ 次のカタカナを漢字に直そう。

- 1 自己シヨウカイをする。 ( )
- 2 和やかなフンイキ。 ( )
- 3 アクシユを求める。 ( )
- 4 他人をソクケイする気持ち。 ( )

④ 次の傍線部の漢字の読みを答えよう。

- 1 会釈くらいはする。 ( )
- 2 襟足のかりあげ。 ( )
- 3 田舎育ち。 ( )
- 4 率先して行う。 ( )

# 挨拶上手「内容の理解」

## 内容の理解

第二段落(p.8 ㉒.9~p.10 ㉒.4)

㉒「その場が和やかな雰囲気にも包まれた。」(㉒・14)のはなぜか。次から選べ。

ア 今まで挨拶もしなかった人たちが互いに自己紹介を始めたことを、みんなが不思議とも思わず受け入れたから。

イ 田中さんの挨拶がきっかけになり、みんなが自己紹介をして互いの名前を知ることができたから。

ウ 毎朝同じ時刻にバス停で出会う全員がその日もバス停にそろっていて、みんなが安心したから。

㉓「彼女のマナーと心遣いに深く感心した。」(㉓・14)とあるが、どういうところに「感心」したのか。次の空欄にあてはまる言葉を後の語群からそれぞれ選べ。

バスに乗り込むまでは **A** をし、 **B** を交わす関係を楽しむが、バスに乗り込むといつまでも話を続けるのではなく、それぞれが一人の社会人として **C** の場でのあり方に **D** して切り替えるところ。

ア 率先    イ 言葉    ウ 挨拶    エ 公共    オ 配慮

A [   ]    B [   ]    C [   ]    D [   ]

㉔「挨拶は自分を守る鎧」という教え(㉔・9)とはどのようなことか。次から選べ。

ア たとえ相手が見知らぬ人であっても、一度誰かに紹介してもらえば、次は自分から挨拶ができるということ。

イ 挨拶が上手な人は自分に自信が持てるので、他人を尊敬しながら堅苦しくなく、スマートなふるまいができるということ。

ウ 見知らぬ人どうしても、挨拶を交わしてお互いを知ることができれば、安心を得ることができるといふこと。

[   ]

第一段落(初め~p.8 ㉒.8)

1「これ」(㉒・6)とはどういうことをさすか。本文中から十五字以内で抜き出せ。


こと。

2「はじめましてというのなんなのですが……。」「(㉒・11)と言ったときの女性ほどのような心情か。本文中の語句を用いて五字以内で答えよ。


3「こうも変わるのか」(㉓・3)とあるが、どう変わったか。次の文の空欄に本文中の語句を入れよ。

昨日までは、毎朝(①)で会っているのに(②)も言葉を交わしていなかった人たちが、今朝は楽しそうに(③)を交わし、近くから(④)するとみんなが挨拶を返してくれた。

③	①		
④	②		

4「忘れかけていた大切なこと」(㉔・15)とは何か。

本文中から二十六字で抜き出し、初めと終わりの五字で答えよ。


第三段落(p.10 ㉒.5~p.11 ㉒.6)

第四段落(p.11 ㉒.7~終わり)

[   ]

第二段落(p.8 ㉒.9~p.10 ㉒.4)

第四段落(p.11 ㉒.7~終わり)



# 日本語のこころ(金田一春彦)

教科書 p.44 ~ p.48

検 印

## 漢字

□ 次の太字の仮名を漢字に改めよ。

- |             |            |            |
|-------------|------------|------------|
| p.44<br>0.2 | 1 椅子に腰をか   | 〔ける。〕      |
| 0.6         | 2 かんせつ     | 〔が痛む。〕     |
| 0.6         | 3 枕がなくてね   | 〔られない。〕    |
| 0.7         | 4 ちよつと耳にと  | 〔める。〕      |
| 0.8         | 5 大手をぶ     | 〔る。〕       |
| p.45<br>0.1 | 6 病院でちゆうしや | 〔をする。〕     |
| 0.3         | 7 写真をと     | 〔ってもらう。〕   |
| 0.7         | 8 わだい      | 〔になる。〕     |
| 0.9         | 9 美しいはなよめ  | 〔。〕        |
| p.46<br>0.4 | 10 りくつ     | 〔つぼい。〕     |
| 0.6         | 11 僕いがい    | 〔誰もいない。〕   |
| 0.11        | 12 言い方をまちが | 〔える。〕      |
| p.47<br>0.2 | 13 自分をせ    | 〔める。〕      |
| 0.4         | 14 手からすべ   | 〔り落ちる。〕    |
| 0.7         | 15 かべ      | 〔にたたきつける。〕 |
| 0.9         | 16 言葉づか    | 〔い。〕       |
| 0.13        | 17 かんけつ    | 〔な言い方。〕    |

□ 次の太字の漢字の読みを記せ。

- |             |           |            |
|-------------|-----------|------------|
| p.44<br>0.7 | 1 小耳      | 〔にはさむ。〕    |
| 0.9         | 2 鶏       | 〔の鳴き声。〕    |
| 0.9         | 3 養鶏      | 〔場を作る。〕    |
| 0.10        | 4 よい評価    | 〔を受ける。〕    |
| 0.12        | 5 髪       | 〔を整える。〕    |
| p.45<br>0.6 | 6 お湯を沸    | 〔かす。〕      |
| 0.6         | 7 下宿で自炊   | 〔する。〕      |
| 0.8         | 8 投手の球    | 〔を打つ。〕     |
| 0.14        | 9 遠くへ嫁    | 〔ぐ。〕       |
| p.46<br>0.1 | 10 ひげが生   | 〔える。〕      |
| 0.8         | 11 質問     | 〔が出る。〕     |
| p.47<br>0.2 | 12 相手に謝   | 〔る。〕       |
| 0.2         | 13 日本人の優  | 〔しき。〕      |
| 0.9         | 14 欧米     | 〔人の考え方。〕   |
| 0.14        | 15 日本人の道義 | 〔感。〕       |
| 0.15        | 16 先祖     | 〔に礼を尽くす。〕  |
| 0.16        | 17 謹      | 〔んで頭を下げる。〕 |

## 語句

□ 次の太字の語句の意味を調べよ。

1 相手を慮る日本人の優しき。

2 謹んで頭を下げたい。

□ 次の太字の「さ」を漢字に改めよ。

1 国語の授業でさ

2 傘をさ

3 指にとげがさ

4 花を花瓶にさ

5 頬に赤みがさ

6 舌をさ

7 目的地をさ

8 勉強中に眠気がさ

□ 次の語句を使って短文を作れ。

1 小耳にはさむ

2 後ろ指をさされる

3 思いもよらない

●次の空欄に本文中の語句を入れて内容を整理せよ。

<p>第一段落</p>	<p>初め 四四・9</p>	<p>日本語では、「ア」 「」に関してあまりはつきり言わない。 (例) 腰を掛ける・膝枕・小耳にはさむ など</p>
<p>第二段落</p>	<p>四四・10 四五・15</p>	<p>日本語は「」 「」ではないと評価される。 (例) 頭を刈る・提灯に火をつける 嫁をもらう など</p>
<p>第三段落</p>	<p>四五・16 四六・7</p>	<p>日本人は「」 「」言おうとすることが多い。 (例) 僕はウナギだ あそこの寿司屋さんほうまい など</p>
<p>第四段落</p>	<p>四六・8 四七・3</p>	<p>日本人は、自分を「」 「」相手に謝ろうとする。 (例) 本屋での会話 お客「漱石の『坊っちゃん』はありますか。」 店員「」。</p>
<p>第五段落</p>	<p>四七・4 終わり</p>	<p>日本人の言葉遣いには、日本人の「」の強さを感じさせるものがある。 (例) 私はコップを割りました。</p>

金田一春彦

アイヌ語の研究や辞書の編集で有名な金田一京助を父にもつ。東京大学文学部国文科卒業後、日本語の歴史・アクセント、方言の分野の研究の第一人者として活躍する一方、テレビのクイズ番組などにも出演し、豊富な話題とユーモアあふれる語りで多くの人々に親しまれた。二〇〇四(平成一六年、九十一歳)で死去。

旧制高校のころ国語学者になる決心をし、そのとき父京助に、「語源の研究、詩の韻律の研究、日本語の系統の研究」、この三つはしてはいけないと戒められたという。著作には、『平家物語』の注釈書、日本語のアクセントを歴史的に研究した『国語アクセントの史的研究』、方言研究の成果をまとめた『日本の方言—アクセントの変遷とその実相』のほか、随筆集も出版されている。

言語作品

日本語(上・下) 外国語と比べて日本語がどんな特徴をもっているか概観を述べ、さらに発音・語彙・表記・文法・言語表現の分野にわたって日本語とはいかなる言語かをわかりやすく説く。日本語について学ぶ入門書として最適。

日本語セミナー(全六巻) これまでに書かれた論文や随筆等を研究分野ごとに六冊に分けてまとめた著作集。



# 模範解答

① 次の語を、カタカナを使わずに言い換えてみよう。

- 1 コミュニケーション （意思疎通。情報が送り手から受け手に伝わること。）
- 2 ニックネーム （あだ名、愛称）
- 3 マナー （態度、礼儀、礼儀作法）
- 4 スマート （行動などがきびきびしていて洗練されているさま）

例

② 「頭が下がる」のように「頭」を使った慣用表現を一つあげ、その意味を書こう。

慣用表現 頭を使う

例

意味 うまくいくように、よく考える。

【解答例】 ※ほかにもたくさんあります。

- ・頭が上がらない 【意味】（負い目などがあって）対等につきあえない。
- ・頭を抱える 【意味】 どうしたらいいかわからなくて困ってしまう。
- ・頭を冷やす 【意味】 のぼせている頭をさまし、落ち着かせる。
- ・頭が回る 【意味】 よく考えることができる。 など

③ 次のカタカナを漢字に直そう。

- 1 自己シヨウカイをする。 （紹介）
- 2 和やかなフンイキ。 （雰囲気）
- 3 アクシュを求めろ。 （握手）
- 4 他人をソッケイする気持ち。 （尊敬）

④ 次の傍線部の漢字の読みを答えよう。

- 1 会積くらいはする。 （えしやく）
- 2 襟足のかりあげ。 （えりあし）
- 3 田舎育ち。 （いなか）
- 4 率先して行く。 （そっせん）

【内容の理解】

【正解】

【イ】

【A】ウ B【イ】 C【エ】 D【ア】

【ウ】

- 1 毎朝、同じ時刻にバス停で会う（こと）。（十四字）
- 2 照れている（五字）
- 3 ①||バス停 ②||ひと言 ③||言葉 ④||挨拶
- 4 いっどんなくわないこと

【読解のポイント】

【1】初対面の「田中さん」が挨拶したことによって、それまで毎朝顔を会わせていても挨拶もせず、名前も知らなかった人たちと知り合いになり、場が和やかになったのであるから、イが正答である。アは、今まで挨拶をしていなかった「私」が九ページ8行目にあるように、自分をおかしいと思ったり、九ページ10～11行目のように、一人の女性が毎朝会っている人に對して「はじめまして」と挨拶することに「照れ」たりしているので、不思議さは感じていると読み取れる。ウは、その場に毎朝出会う全員がいてよかつたと感じていたのは「私」の感想なので、「みんなが安心した」というのは誤りである。

【2】「田中さん」と出会ってからは、バス停で言葉を交わすようになった「私」たちではあるが、バスに乗車すると一〇ページ13行目にあるように、「それぞれが一人に戻り、バスの中では会話をしない。それは社会人としてのマナーを守り、他の乗客に配慮する「田中さん」の「心遣い」からであった。そんな「田中さん」に感心したのである。

【3】挨拶をすることで、「自分が決して害を与える存在でないこと」を（二一・七）相手に伝え、相手を知ること、自分も「安心を得るのである。」（二一・九）ので、ウが正答である。「二度誰かに紹介してもらえば、次は自分から挨拶」できるといふきつかけを問題にしているのではないので、アは誤答である。イは、「挨拶が上手な人」が「自分に自信」を持っているかどうかは述べられていないので、誤答である。

【1】「毎朝、同じ時刻にバス停で会う」（八・一）という状況があれば、たとえ名前は知らなくても、アメリカなら少しはコミュニケーションをとるだろうし、日本でも田舎なら会釈くらいはするだろうと筆者は考えたのである。

【2】九ページ10～11行目にあるように、一人の女性は、毎

朝会いながら今まで言葉を交わしたことがなかったのに、今さら「はじめまして」と挨拶する自分に「照れ」ているのである。

【3】前日まで同じ時間にバス停で会っていても、挨拶や言葉を全く交わすことのなかった人たちが、「たった一日で」言葉を交わし、互いに挨拶をするように変化したのである。

【4】筆者が第四段落でまとめているように、人と人とのつながりの目的は互いの「安心」を得ることである。そのためには、他人への「思いやり」の気持ちを「挨拶」することで伝えることがまず必要である。「思いやり」は「感謝」から生まれ、「感謝」は「尊敬」から生まれる。「尊敬」の気持ちを持つことが、人と人とのつながりの一番大切な基礎である。



正解数

組 番 名前：

問/14問

★★ ポイント ★★

まちが いちらん  
間違いやすいひらがな表記の一覧

<p>④のグループ</p> <p>おとうさん (お父さん) ×おとおさん          どうとく (道徳) ×どおとく          とうだい (灯台) ×とおだい          おうぎ (扇) ×おおぎ          おはよう ×おはよお          とう (塔) ×とお</p>		<p>⑥のグループ</p> <p>こおり (氷) ×こうり          とおる (通る) ×とうる          ほのお (炎) ×ほのう          おおきい (大きい) ×おうきい          とおい (遠い) ×とうい          とお (+) ×とう</p>	
<p>⑧のグループ</p> <p>じめん (地面) ×ぢめん          むのじ (布地) ×ぬのぢ</p>		<p>⑨のグループ</p> <p>はなぢ (鼻血) ×はなじ          ちぢむ (縮む) ×ちぢむ          そこぢから (底力) ×そこじから          まぢか (間近) ×まじか</p>	
<p>⑩のグループ</p> <p>ずが (図画) ×づが          りやくず (略図) ×りゃくづ          こうず (構図) ×こうづ</p>		<p>⑪のグループ</p> <p>つづみ (鼓) ×つずみ          つづく (続く) ×つずく          たけつつ (竹筒) ×たけずつ          みかづき (三日月) ×みかずき</p>	
<p>その他</p> <p>けいかく (計画) ×けえかく          いう (言う) ×ゆう</p>			

(^\_^)/ ほかに迷うことばがあれば調べておこう!

(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
略図	続く	底力	地面	計画	氷	お父さん
りやくづ	つづく	そこぢから	じめん	けいかく	こおり	おとおさん
りやくず	つづく	そこじから	ぢめん	けえかく	こうり	おとうさん
( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

1 次のことばをすべてひらがなに直し  
たとき、正しい方に○を書きなさい。

次のことばをすべてひらがなに直したとき、□に入る文字を書きなさい。

- (1) 遠い ↓ と □ い
- (2) 布地 ↓ ぬの □
- (3) 縮む ↓ ち □ む
- (4) 三日月 ↓ みか □ き
- (5) 図画 ↓ □ が
- (6) 道徳 ↓ ど □ とく
- (7) 言う ↓ □ う

コラム

「ひらがな表記の決まり」

今回紹介した、間違いやすいひらがな表記は、ある一定の決まりがあります。

・「う」と「お」のグループ

こちらは、どちらもその前にくるひらがなが「才段」の音になっています。

- おとうさん (お父さん) ↓ と (TO)
- どとく (道徳) ↓ ど (DO)
- こおり (氷) ↓ こ (KO)
- とお (十) ↓ と (TO)

では、「う」と「お」は何で違っているのか、疑問に思いませんか。これは、昔のひらがな表記(歴史的仮名遣い)の違いによります。「お」になっているものは、昔は「ほ」「を」と表記していました。「こおり」は「こほり」、「とお」は「とを」だったのです。

・「じ」と「ぢ」、「ず」と「づ」のグループ

こちらは、主に「ちぢむ(縮む)」「つづく(続く)」のように同じ音の連呼による場合と、「そこちから(底力||底+力)」のように二語の連合による場合に濁音になっています。

それ以外には、漢字にもとから濁った音読みを持っていますものもあります。「地」は「じ」、「図」は「ず」と音読みするので、「じめん(地面)」「ぬのじ(布地)」「ずが(図画)」「りやくず(略図)」のようになります。「地」には「ち」という音読みもあるので、「地面」を「ぢめん」と書いてしまいがちですが、注意しましょう。

正解数

組 番 名前：

問 / 13 問

### ★★ ポイント ★★

### いちらん カタカナ表記の一覧

#### カタカナ五十音表

ン ワ ラ ヤ マ ハ ナ タ サ カ ア  
 (キ) リ ミ ヒ ニ チ シ キ イ  
 ル ユ ム フ ヌ ツ ス ク ウ  
 (エ) レ メ ヘ ネ テ セ ケ エ  
 ヲ ロ ヨ モ ホ ノ ト ソ コ オ

#### 書き間違いやすいカタカナ

 (例) キリン ソプラノ



 (例) ワクチン



 (例) エプロン ユニット



 (例) シッツ

※書く方向に注意！

※「キ」と「エ」は歴史的仮名遣いの表記。  
 ひらがなでは「ゐ」「ゑ」と表記する。

#### ちょうおん 長音

※カタカナでは、長くのばす音を「ー」(長音)で表す。

(例) テーブル ラーメン  
 フルーツ コピー

#### きおんご 擬音語

擬音語：物音や生き物の鳴き声などをまねてつくったことば。  
 カタカナで書くことが多い。

(例) トントン カチカチ ザーザー  
 パチパチ チクタク ワンワン  
 ゲツゲツ ゴロゴロ シャリッ



#### がいらいご 日常よく用いられる外来語の例

外来語：外国語から取り入れられたことば。基本的にカタカナで書く。

(例) ピアノ ゼリー チェック デザイン メッセージ プラスチック  
 バレエ ジュース スイッチ タクシー シャッター バドミントン  
 ツアー コーヒー メンバー スタジアム デュエット ファッション  
 ユーロ オフィス ガソリン カルシウム ボランティア ダイジェスト

(3) タチ  
 (2) サ  
 (1) アイウ  
 テト  
 スセソ  
 オ

② 五十音表にしたがって、次の□にあてはまるカタカナを書きなさい。

(2) ん  
 (1) そ

① 次の矢印のうち、正しい書き方を表すものに○を書きなさい。



次のことばをカタカナに直して  に書きなさい。

- (1) がそりん
- (2) ふあつしよん
- (3) らあめん
- (4) わくちん
- (5) ちえつく
- (6) ぼらんていあ
- (7) ちくたく
- (8) ゆにっと

※「ソ」と「ン」、「シ」と「ツ」の書き分けに注意！

コラム

カタカナってどうやってできた？

カタカナの成り立ち<sup>な</sup>は漢字と関係しています。漢字は、紀元前一世紀ごろ中国から日本に伝えられました。その当時の日本には文字はなく、この漢字を使って日本語を書き表そうとしました。そして、日本のことばに、漢字の音をあてはめて書き表そうとできたのが、「万葉仮名」(『万葉集』などに見られる表記)です。仮名<sup>かくな</sup>といえども、画数<sup>かくすう</sup>の多い漢字なので、書きこんだりするのに不便<sup>ふべん</sup>でした。そこで、「止」を「ト」などと漢字の一部を使って簡単に書くようになり、平安時代<sup>へいあんじだい</sup>の初めにカタカナができたのです。

〔カタカナのもとになった漢字〕

ン	ワ	ラ	ヤ	マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	ア	ン	ワ	ラ	ヤ	マ	ハ	ナ	タ	サ	カ	ア	
(无)	(和)	(良)	(也)	(末)	(八)	(奈)	(多)	(散)	(加)	(阿)	(无)	(和)	(良)	(也)	(末)	(八)	(奈)	(多)	(散)	(加)	(阿)	
	キ	リ		ミ	ヒ	ニ	チ	シ	キ	イ	キ	リ		ミ	ヒ	ニ	チ	シ	キ	イ	ウ	
	(井)	(利)		(三)	(比)	(二)	(千)	(之)	(幾)	(伊)	(井)	(利)		(三)	(比)	(二)	(千)	(之)	(幾)	(伊)	ウ	
		ル	ユ	ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ウ	ル	ユ	ム	フ	ヌ	ツ	ス	ク	ク	ク	ウ	エ
		(流)	(由)	(牟)	(不)	(奴)	(川)	(須)	(久)	(宇)	(流)	(由)	(牟)	(不)	(奴)	(川)	(須)	(久)	(久)	(久)	(宇)	エ
	エ	レ	メ	ヘ	ネ	テ	セ	ケ	ケ	エ	エ	レ	メ	ヘ	ネ	テ	セ	セ	ケ	ケ	エ	エ
	(恵)	(礼)	(女)	(部)	(祢)	(天)	(世)	(介)	(介)	(江)	(恵)	(礼)	(女)	(部)	(祢)	(天)	(世)	(世)	(介)	(介)	(江)	エ
	ヲ	ロ	ヨ	ホ	ノ	ト	ソ	コ	コ	オ	ヲ	ロ	ヨ	ホ	ノ	ト	ソ	ソ	コ	コ	オ	オ
	(乎)	(呂)	(與)	(保)	(乃)	(止)	(曾)	(己)	(己)	(於)	(乎)	(呂)	(與)	(保)	(乃)	(止)	(曾)	(曾)	(己)	(己)	(於)	オ

\*曾は曾の俗字、祢は禰の俗字、與は与の旧字

覚えたい漢字

「シ」(さんずい) ① 汚汗池決沢沈没泳沿河泣治注波油海活深浅洗派洋消浜浮浦浴流涙混



正解数

組 番 名前：

問 / 12問

★★ ポイント ★★

### 漢字の部首－その1－

#### 亻 (にんべん)

人の状態・動作に関係する意味を表す。  
※「亻」は「人」がへん(偏)にあるときの形。



人 + 犬 = 伏

犬が尾をまいて人のそばにうずくまる。→伏せる。

(例) 休 伝 作 依 値 偉 備 儀

#### 木 (きへん)

木の種類・状態に関係する意味を表す。



= 林

林：たくさんの木が並び生えている。



= 森

森：木が多い。

(例) 机 枝 柄 根 梅 植 横 機



へん(偏)：漢字の左側

#### 魚 (うおへん)

魚の種類・状態に関係する意味を表す。



= 魚

さかなを描いて作った字。

(例) 鮎 鮭 鮫 鮮 鯉 鯨 鯛 鰻

※鯨は哺乳類だが、昔の人が海に住んでいる鯨を魚の一種と考えたのでうおへんがつく。

#### 忄 (りっしんべん)

心の動き・働きに関係する意味を表す。  
※「忄」は「心」がへん(偏)にあるときの形。



心 + 亡 = 忙

平常心を失うくらいいそがしい。

(例) 性 怖 悟 悩 情 惜 慌 慣

②

次の漢字の部首と部首名が正しくなるように、上の段と下の段を線で結びなさい。

鯉	柄	悩	依
・	・	・	・
・	・	・	・
にんべん	うおへん	りっしんべん	きへん

にんべん きへん うおへん りっしんべん

(4) 人の状態・動作に関係する意味を表す。

(3) 心の動き・働きに関係する意味を表す。

(2) 魚の種類・状態に関係する意味を表す。

(1) 木の種類・状態に関係する意味を表す。

①

次の説明にあてはまる部首名を、後のから選んでそれぞれに書きなさい。

3 次の各組の  に共通する部首を入れて漢字を完成させ、下の  にその漢字を書きなさい。

(1)  義  木  韋

(2)  几  支  幾

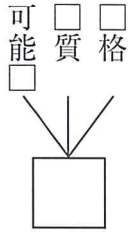
(3)  青  吾  荒

(4)  直  每  黄

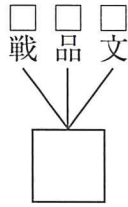
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・	・	・	・
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・	・	・	・
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4 次のそれぞれの  に共通して入る漢字を、後の  から選んで書きなさい。

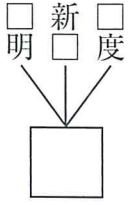
(1)  格  質  可能



(2)  文  品  戦



(3)



慣	性
根	作
伝	鮮

## 「ラム」

「漢字ってどつやっどできた?」

漢字の起源は、古代中国の甲骨文字だといわれています。甲骨文字はものの形をかたどって作られた文字(象形文字という)で、カメの甲羅などに刻まれました。はじめは絵や図形のような形でしたが、それが記号化され、簡略化され、実用的な文字になりました。

漢字は日本に伝わってから、日本のことばに合わせて発展しました。たとえば「春」は、中国人の発音にまねて「シュン」と読んでいましたが、日本のことばをあてはめて「はる」と読むようになります。また、表現したい事柄にあてはまる漢字がない場合が出てきたので、日本で新しい漢字を考えて作りしました。たとえば、「畑(火)」と「田」で山野などを焼いて作る耕作地、「働(人)」と「動」で「はたらく」などです。このように、もともと中国語にはない日本製の漢字を「国字」といいます。国字は訓読みしかないので多いのですが、「働」は「ドウ」の音があり、いつのまにか中国でも使われるようになりました。

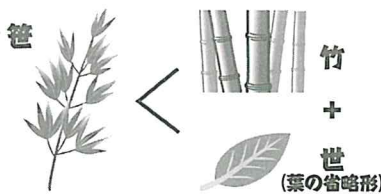
〔その他の国字の例〕

込…「入(すすむの意味)」と「入(はいる)」を合わせて、物が入りこむこと。

峠…「山」と「上(のぼる)」と「下(くだる)」を合わせて、山道の上り下りの境。

塀…「土」と「屏(かきねの意味)」を合わせて、家のまわりを囲う壁。

笹…「竹」と「世(葉の省略形)」で竹の葉。



覚えたい漢字

「シ」(さんずい) ② 涉清淡温減湖港湿測渡湯満漢源溝漠減溶演漁漬漂漫潔潜濃瀬



★★ ポイント ★★

### 漢字の部首－その2－

#### 扌 (てへん)

手の動作に関する意味を表す。  
※「扌」は「手」がへん(偏)にあるときの形。



手+召(よびよせる)

= 招

手でまねき寄せる。

(例) 打 折 抱 指 接 授 探 換

#### 扌 (つちへん)

土や地面に関する意味を表す。



土+曾(かさねる)

= 增

土を積み重ねる。→ふえる。

(例) 地 均 城 堀 場 塩 境 壤

#### へん(偏)：漢字の左側

#### 言(ごんべん)

ことばに関する意味を表す。



言(ことば)+平(たいら)

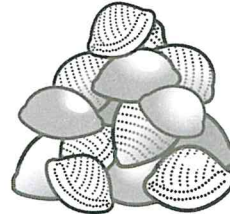
= 評

公平に判断したことば。

(例) 計 記 許 試 語 説 認 議

#### 貝(かいへん・かい)

財宝や貨幣に関する意味を表す。  
※昔、貝はお金の代わりとして使われた。



貝(お金)+才(積み重ねる)

= 財

お金がふえる。→あふう。

(例) 販 貯 賊 賜 貨 貴 質 質

賊 計 塩 授  
・ ・ ・ ・  
・ ・ ・ ・  
つちへん てへん かいへん ごんべん

② 次の漢字の部首と部首名が正しくなるように、上の段と下の段を線で結びなさい。

てへん つちへん ごんべん かいへん

(4) ことばに関する意味を表す。

(3) 手の動作に関する意味を表す。

(2) 財宝や貨幣に関する意味を表す。

(1) 土や地面に関する意味を表す。

① 次の説明にあてはまる部首名を、後のから選んでそれぞれに書きなさい。

③ 次の漢字に（ ）内の部首を足してできる漢字を□に書きなさい。

- (1) 義 + (ごんべん) 〓 □
- (2) 旨 + (てへん) 〓 □
- (3) 化 + (かい) 〓 □
- (4) 成 + (つちへん) 〓 □

④ 次の各組の■に共通する部首を入れて漢字を完成させ、下の□にその漢字を書きなさい。

- (1) ■丁・包・妾 □
- (2) ■宁・易・才 □
- (3) ■竟・易・也 □
- (4) ■忍・午・吾 □

コラム 熟語の成り立ち

「創造」という熟語は、次のどの熟語と同じ成り立ちをしているでしょうか。

- ① 明暗 ② 道路 ③ 新作 ④ 読書 ⑤ 頭痛

熟語を作っている一つ一つの漢字の意味と関係を考えてみます。「創造」は「創」も「造」も「つくる」という意味で、意味が似ている漢字の組み合わせになっています。選択肢の熟語は次のような成り立ちをしています。

① 明暗 〓 「明」るい ↔ 「暗」い

(意味が対になる漢字の組み合わせ)

② 道路 〓 「道」も「路」も「みち」という意味

(意味が似た漢字の組み合わせ)

③ 新作 〓 「新」しい「作」品

(前の漢字が後の漢字を修飾する関係)

④ 読書 〓 「書」を「読」む

(後の漢字が前の漢字の目的や補足になる関係)

⑤ 頭痛 〓 「頭」が「痛」い

(前の漢字と後の漢字が主語・述語の関係)

こうして考えると、「創造」は「②道路」と同じ成り立ちの熟語だとわかります。



書を読む

覚えたい漢字

「イ」(にんべん) ① 侵係例使供依低体伸住似作何位伏任伝件休仮付代他仕化



★★ ポイント ★★

### 漢字の部首－その3－

#### 金 (かねへん)

金属に関する意味を表す。



金 + 名 = 銘

金属に名前をきざむ。

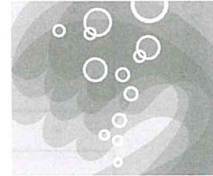
(例) 針 鉄 銀 銭 銅 録 鏡 鑑



へん (偏)：漢字の左側

#### 氵 (さんずい)

水の状態・性質に関する意味を表す。  
※「氵」は「水」がへん (偏) にあるときの形。



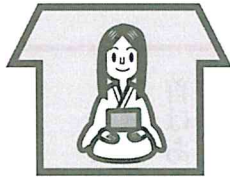
水 + 包 = 泡

空気をつつんだ水の膜。

(例) 沢 河 泣 注 海 浦 清 港

#### 宀 (うかんむり)

家や屋根に関する意味を表す。



宀 (屋根) + 女

= 安

女の人が家の中で静かに座る。→やすらか。

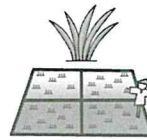
(例) 守 実 宙 宝 家 宿 寒 富



かんむり (冠)：漢字の上側

#### 艹 (くさかんむり)

草の種類・状態に関する意味を表す。  
※「艹」は、草が並んで生えているさまを表した「艸」がもとの形。



艹 (くさ) + 田

= 苗

田に生えた小さな草。

(例) 芝 花 芽 茂 茶 菜 蔵 薬

泡 鑑 宿 芝  
・ ・ ・ ・  
・ ・ ・ ・  
かねへん くさかんむり うかんむり さんずい

② 次の漢字の部首と部首名が正しくなるように、上の段と下の段を線で結びなさい。

うかんむり かねへん さんずい くさかんむり

(4) 水の状態・性質に関する意味を表す。

(3) 家や屋根に関する意味を表す。

(2) 草の種類・状態に関する意味を表す。

(1) 金属に関する意味を表す。

① 次の説明にあてはまる部首名を、後の□から選んでそれぞれ□に書きなさい。

3

次の各組の  に共通する部首を入れて漢字を完成させ、下の  にその漢字を書きなさい。

(1)  威・ 田・ 之

(2)  艮・ 录・ 失

(3)  玉・ 畠・ 寸

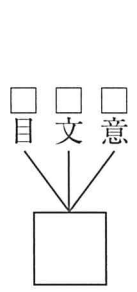
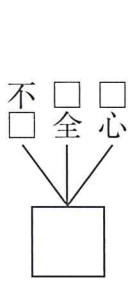
(4)  化・ 楽・ 余

(5)  巷・ 立・ 毎

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・	・	・	・	・
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
・	・	・	・	・
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

4

次のそれぞれの  に共通して入る漢字を、後の  から選んで書きなさい。



注 英 茂 安



### コラム

### その他のかんむり(冠)

STEP5では、「うかんむり」と「くさかんむり」について学習しましたが、左の例のように、他にも「かんむり」の部首はあります。

いろいろな部首があるので、漢字を調べるときに迷うことがあるかもしれません。たとえば、「空」という漢字です。「うかんむり」にもみえますが、辞書を引くと「あなかんむり」に分類されています。

なぜ、「あなかんむり」なのでしょう。 「空」は、

意味を表す「穴」+音を表す「工」(コウ)

から成り、ドーム状の穴にみえる「空」を表していると考えられます。このように、漢字の成り立ちが「穴」に関係しているので、「空」は「あなかんむり」に分類されます。

#### 「その他の「かんむり」の例

- (冫) わかんむり……元・写・冠など
- (耂) おいかんむり……老・考・者など
- (宀) あなかんむり……究・突・窓など
- (竹) たけかんむり……笑・第・答・築など
- (雨) あめかんむり……雪・雲・電・震など
- (土) なべぶた……亡・交・京・亭など
- (艹) はつがしら……発・登など
- (罝) あみがしら……罪・署・置・罰など

※(一)内は部首。それぞれの成り立ちを調べてみよう！  
※部首は『ベネッセ新修漢和辞典』によります。

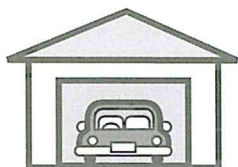


### ★★ ポイント ★★

### 漢字の部首－その4－

#### 宀 (まだれ)

建物・屋根に関する意味を表す。



宀 (家) + 車

= 庫

車を入れておく家。  
→物を入れる「くら」。

(例) 序 床 店 府 度 座 庭 廐



たれ(垂): 漢字の上から左

#### 疒 (やまいだれ)

病気に関する意味を表す。

※「疒」は人がベッドに寝ている姿を表す。



疒 + 矢 = 疾

矢にあたって病床で苦しむ。  
→やまい。

(例) 疫 症 疲 病 痛 療 癖 癒

#### 灬 (れんが)

火や熱に関する意味を表す。

※「れっか」ともいう。「火」があし(脚)につくと「灬」となる漢字がある。



火 + 昭 (太陽があかるい)

= 照

日や火の光が明るくてらす。

(例) 点 烈 煮 焦 然 無 熟 熱



あし(脚): 漢字の下

#### 辶 (しんにょう)



しんにょう(繞): 漢字の左から下

「行く」「進む」に関する意味を表す。

※「しんにょう」ともいう。



辶 (行く・進む) + 車

= 連

車がいくつも続いて道を進む。→つらなる。

(例) 近 逆 送 追 速 逐 通 透

宀 ・ 疒 ・ 灬 ・ 辶  
 ・ ・ ・ ・  
 まだれ ・ れんが ・ しんにょう ・ やまいだれ

② 次の部首と部首名が正しくなるように、上の段と下の段を線で結びなさい。

やまいだれ れんが しんにょう まだれ

(4) 病気に関する意味を表す。

(3) 「行く」「進む」に関する意味を表す。

(2) 火や熱に関する意味を表す。

(1) 建物・屋根に関する意味を表す。

① 次の説明にあてはまる部首名を、後の□から選んでそれぞれ□に書きなさい。

3 次の漢字に、から適切な部首を選んで足し、別の漢字を作つてに書きなさい。

- (4) 束
- (3) 予
- (2) 皮
- (1) 昭

れんが しんによう まだれ やまいだれ

4 次の各組の漢字に、共通する部首を入れて漢字を完成させ、下のにその漢字を書きなさい。

(1) 丙・矢・正

(2) 木・車・発

(3) 執・者・然

(4) 苗・斤・甬

<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
・	・	・	・
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
・	・	・	・
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

## コラム

### 重箱読みと湯桶読み

漢字には、音読みと訓読みがあります。二字の熟語の読み方は、当然その組み合わせになるわけです。組み合わせは、全部で四種類。

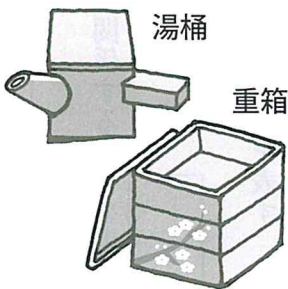
- ① 音読み + 音読み
- ② 訓読み + 訓読み
- ③ 音読み + 訓読み
- ④ 訓読み + 音読み

①は「空腹」「学習」など、②は「空手」「麦畑」など、比較的多く見られます。

③は「絵筆」「台所」など、④は「手帳」「見本」などがあります。実は③と④の読み方には、それぞれ名前がついています。

③が「重箱読み」、④が「湯桶読み」です。  
 「重箱」↓「ジュウ（音読み）+ばこ（訓読み）」  
 「湯桶」↓「ゆ（訓読み）+トウ（音読み）」

ちなみに、「湯桶」というのは、そば屋さんでよく「そば湯をください」と頼むと出てくる、そば湯の入った入れ物のことです。





### ★★ ポイント ★★

### 漢字の部首－その5－

#### 口 (くにがまえ)



かまえ (構)：漢字の外側

#### 門 (もんがまえ)

かこ 囲い・丸い形にかんけい関係する意味を表す。



口(ふとん)+大(人が大の字で寝る)

= 囚

人が安心して身をまかせる。

→頼りにする、寄る。

(例) 囚 回 団 囲 困 固 国 園

い ぐち 入り口・囲いかんけいに関係する意味を表す。



= 門

2枚の扉とびらを閉めた門の形を描いて作った字。

(例) 閉 開 間 閑 閣 関 閥 闈

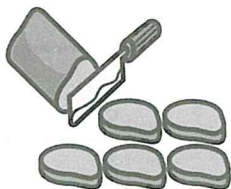
#### 刂 (りっとう)



つくり (旁)：漢字の右側

#### 頁 (おおがい)

はもの 刃物や「切る・けずる」かんけいに関係する意味を表す。  
※「刀」がつくりになると「刂」の形になる漢字がある。



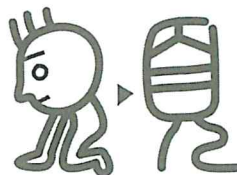
歹(ばらばらになる)+刂(はもの)

= 列

ばらばらに切り分けて並べる。

(例) 刈 判 刷 削 別 割 創 劇

人の頭や顔かんけいに関係する意味を表す。  
※「頁」は、ひざまずいた人の頭の形を表す。



= 頁

ひざまずいた人の大きな頭の形を描いて作った字。

(例) 頂 預 頭 額 顔 題 願 顧

園 開 額 判  
・ ・ ・ ・  
・ ・ ・ ・  
おおがい くにがまえ りっとう もんがまえ

② 次の漢字の部首と部首名が正しくなるように、上の段と下の段を線で結びなさい。

もんがまえ くにがまえ りっとう おおがい

(4) 人の頭や顔かんけいに関係する意味を表す。

(3) 入り口・囲いかんけいに関係する意味を表す。

(2) 刃物や「切る・けずる」かんけいに関係する意味を表す。

(1) 囲い・丸い形かんけいに関係する意味を表す。

① 次の説明にあてはまる部首名を、後のか  
ら選んでそれぞれ  に書きなさい。

③ 次の漢字に（ ）内の部首を足してできる漢字を□に書きなさい。

- (1) 害 + (りつとう) 〓 □
- (2) 彦 + (おおがい) 〓 □
- (3) 木 + (くにがまえ) 〓 □
- (4) 音 + (もんがまえ) 〓 □

④ 次の各組の漢字に、共通する部首を入れて漢字を完成させ、下の□にその漢字を書きなさい。

- (1) 肖・倉・另 □
- (2) 原・予・雇 □
- (3) 寸・井・玉 □
- (4) 日・各・伐 □
- (5) 虞・夂・屮 □

コラム 生き物に関する部首

STEP3〜7で学習した部首のほかに、どのような部首があるでしょうか。ここでは、生き物に関する部首を集めました。

〔生き物に関する部首の例〕

- 牛(牛)：うし(うしへん) 犬(犭)：いぬ(けものへん)  
 羊：ひつじ・ひつじへん 虫：むし・むしへん  
 豕：いのこ・いのこへん 酉：とりへん・ひよみのとり  
 隹：ふるとり 馬：うま・うまへん  
 鳥：とり・とりへん 鹿：しか

右の部首を使った漢字はそれぞれ、「物・猫・群・虫・豚・酒・雌・駅・鶴・麗」などがあります。

さて、右の部首の中には、「とり」とつくものがいくつあったでしょうか。「酉」「隹」「鳥」の三つです。

「酉」は、酒つぼの形を表し、十二支(年・時刻・方角を表すために使った十二種の動物の名前)の十番目の意味に用いられます。「隹」は、尾の短いぐりした小鳥の形を表しています。「鳥」は、尾の長い鳥を描いて作った字です。

同じ鳥の仲間でも、「雀」には「隹」が、「鷄」には「鳥」が使われているのは、部首の意味の違いが関係しているようです。



正解数

組 番 名前：

問 / 6 問

### ★★ ポイント ★★

### 文の組み立て

#### ● 主語と述語

**主語** 「何が・だれが」を表す文節。

**述語** 「どうする・どんなだ・何だ・ある(いる・ない)」を表す文節。

雨が 降る。      雨が = 「何が」      降る = 「どうする」  
主語      述語

私が 担当だ。      私が = 「だれが」      担当だ = 「何だ」  
主語      述語

花が きれいだ。      花が = 「何が」      きれいだ = 「どんなだ」  
主語      述語

※主語には「…が」だけではなく、「…は」「…も」「…こそ」などもあります。

妹は中学生だ。      私も掃除当番だ。      努力こそ大切だ。

① 次の文の——部に対応する主語を抜き出しなさい。

鳥居を潜ると杉の梢でいつでもふくろうが鳴いている。

※出題の都合により、表現を一部改めた箇所があります。

(夏目漱石『夢十夜』)

主語

② 次の文の——部に対応する主語を抜き出しなさい。

とうとう彼女は首をうなだれて私の方に向かってきた。

※出題の都合により、表現を一部改めた箇所があります。

(堀辰雄『幼年時代』)

主語

③ 次の文の——部に対応する述語を抜き出しなさい。

王妃さまは、あんまりハムレットさまを悪く言います。

※出題の都合により、表現を一部改めた箇所があります。

(太宰治『新ハムレット』)

述語



④ 次の文の主語と述語を抜き出しなさい。

洋一はある日慎太郎と、トランプの勝敗から口論をした。

(芥川龍之介『お律と子等と』)

※出題の都合により、表現を一部改めた箇所があります。

主語

述語

⑤ 次の文の主語と述語を抜き出しなさい。

そうしてその上に彩られる大都会の空気が、記憶の復活に伴う強い刺激と共に、濃く私の心を染め付けた。

(夏目漱石『ころも』)

※出題の都合により、表現を一部改めた箇所があります。

主語

述語

⑥ 次の文の主語と述語を抜き出しなさい。

実をいうと、僕はこの高木という男について、ほとんど何も知らなかった。

(夏目漱石『彼岸過迄』)

※出題の都合により、表現を一部改めた箇所があります。

主語

述語

## ワンランク上の問題に挑戦

① 次の——部の動作をおこなっている主語に当たる文節を抜き出さなさい。

国王は驚きが静まると、「それッ！」と家来達に合図をして、鏡を差し上げながら鳥の方を照らしました。そのとたんに鳥は首を上げて、皆の方を見て、飛んで逃げようとしたが、鏡に照らされているせいか、翼がよく利かないで、ばたばたと地面へ落ちて来ました。そしてなお足で逃げようとするのを、強い家来達が大勢で取って押さえて、象の背中の籠の中へ入れてしまい、籠の上にはさらに袋をかぶせました。

(豊島与志雄『夢の卵』)

※出題の都合により、表現を一部改めた箇所があります。

主語にあたる文節

## コラム

### 「文節とは？」

「文節」は、「文章」「段落」「文」といったことばの単位の一つで、意味を壊さない程度に文を区切った一つ一つのまとまりのことです。まとまりの最後に「ね」「よ」などのことばをつけて区切ることができます。

(例) 私は料理を作った。↓私はね、料理をね、作ったよ。  
※この文は三文節できています。

では、次の文はいくつの文節に分けられるでしょうか？

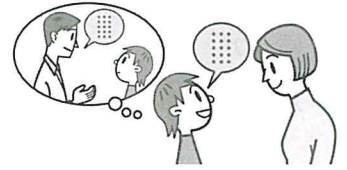
弟は、明日家族と隣の町に買いものに行く。

(正解 七つ)

### ★★ ポイント ★★

## 敬語のはたらき

※敬語とは、人を敬う気持ちを表すことば。話し手(書き手)が聞き手(読み手)や話題の中心人物に対して敬意を表す。



**尊敬語** 人の動作を敬う表現。  
他人の動作に使う。

**謙讓語** 動作を受ける人を敬う表現。  
自分や身内の動作に使う。

**丁寧語** 聞いている人に対して丁寧に表示することば。

- ・尊敬語は「お(ご)…になる」、謙讓語は「お(ご)…する」を用いる。
- ・尊敬語と謙讓語には、特定の語を用いた表現がある。

尊敬語		謙讓語	丁寧語
おっしゃる 先生がおっしゃる。	言う	申し上げる／申す 先生に申し上げます。	…です／…ます 名詞の後は「です」、動詞の後は「ます」をつける。  あれは桜の木です。 名前を言います。 説明を聞きます。 学校へ行きます。 友達が来ます。
お聞きになる 説明をお聞きになる。	聞く	うかがう／承る／お聞きする その件についてうかがう。	
いらっしゃる／おいでになる 旅行へいらっしゃる。	行く	うかがう／参る 私をごあいさつにうかがう。	
いらっしゃる／おいでになる こちらへおいでになる。	来る	うかがう／参る あとで母も参ります。	



おっしゃる 申す うかがう おいでになる

(2) 先生が  。  
〔言う〕

(1) 私がごあいさつに  。  
〔行く〕

② 次の  にあてはまることばを、「」の意味になるように、後の  から選んで書きなさい。

- (5) あれは桜の木です。 ( )
- (4) こちらへおいでになる。 ( )
- (3) 先生に申し上げます。 ( )
- (2) 説明を聞きます。 ( )
- (1) その件についてうかがう。 ( )
- ① — 部が尊敬語ならアを、謙讓語ならイを、丁寧語ならウを、( ) に書きいれなさい。

3

次の（ ） のことばのうち、正しいほうを○で囲みなさい。

(1) 私が（ おっしゃる ・ 申し上げる ） ことをメモに控えてください。

(2) 姉が先生をお迎えに（ おいでになります ・ 参ります ）。

(3) 先生は明日あちらへ（ いらっしゃる ・ 参る ） はずだ。

(4) 私が注文を（ お聞きになります ・ 承ります ）。

4

次の――部を「 」の指示にしたがって直したとき、正しいものを選んで  に書きなさい。

(1) わが家に来る。〔尊敬語に〕

来ます  
いらっしゃる  
参る

(2) 駅へ行く道を聞く。〔謙譲語に〕

うかがう  
お聞きになる  
聞きます

ワンランク上の問題に挑戦

1

次のことばを使って、主語と述語が整った文を作りなさい。

(1) おっしゃる

(2) うかがう



コラム

二重敬語

次の文の敬語は適切でしょうか。

「先生は、フェリーにご乗船になられた。」

答えは、不適切です。「ご…になる」で十分な敬意表現になっているにもかかわらず、尊敬の意味を表す「れ（助動詞「れる」の連用形）」がついています。これは、過剰な表現で、二重敬語（過剰敬語）と言われます。

正しくは、

「先生は、フェリーにご乗船になった。」または、

「先生は、フェリーに乗船された。」となります。



正解数

組 番 名前：

問 / 24 問

①

次のことばをすべてひらがなに直したとき、正しい方に○を書きなさい。

(1)

お父さん

おとうさん  
おとおさん

( ) ( )  
( ) ( )

(2)

氷

こおり  
こうり

( ) ( )  
( ) ( )

(3)

計画

けいかく  
けえかく

( ) ( )  
( ) ( )

②

次のことばをカタカナに直して□に書きなさい。

(1)

がそりん

□

(2)

ふあつしよん

□

(3)

ぼらんていあ

□

③

次の各組の■に共通する部首ぶしゅを入れて漢字を完成させ、下の□にその漢字を書きなさい。

(1)

■ 義  
■ 木  
■ 韋

□  
□  
□

(2)

■ 几  
■ 支  
■ 幾

□  
□  
□

(3)

■ 青  
■ 吾  
■ 荒

□  
□  
□

④

次の漢字に( )内の部首を足してできる漢字を□に書きなさい。

(1)

義 + (ごんべん) ||

□

(2)

旨 + (てへん) ||

□

(3)

成 + (つちへん) ||

□

5

次の各組の [ ] に共通する部首を入れて漢字を完成させ、下の [ ] にその漢字を書きなさい。

(1) 良・录・失

・
・

(2) 玉・畠・寸

・
・

(3) 化・楽・余

・
・

6

次の漢字に、 [ ] から適切な部首を選んで足し、別の漢字を作って [ ] に書きなさい。

(1) 昭

(2) 皮

(3) 束

れんが しんによう やまいだれ

7

次の各組の漢字に、共通する部首を入れて漢字を完成させ、下の [ ] にその漢字を書きなさい。

(1) 肖・倉・另

・
・

(2) 寸・井・玉

・
・

(3) 日・各・伐

・
・

8

次の ( ) のことばのうち、正しいほうを○で囲みなさい。

(1) 私が ( おっしゃる ・ 申し上げる ) ことをメモに控えてください。

(2) 姉が先生をお迎えに ( おいでになります ・ 参ります ) 。

(3) 先生は明日あちらへ ( いらっしゃる ・ 参る ) はずだ。

#### ★★ ポイント ★★

#### まちが いちらん 間違いやすいひらがな表記の一覧

##### うのグループ

おと <u>う</u> さん (お父さん)	×おとおさん
ど <u>う</u> とく (道徳)	×どおとく
と <u>う</u> だい (灯台)	×とおだい
お <u>う</u> ぎ (扇)	×おおぎ
おは <u>よ</u> う	×おはよお
と <u>う</u> (塔)	×とお

##### おのグループ

こ <u>お</u> り (氷)	×こうり
と <u>お</u> る (通る)	×とうる
ほの <u>お</u> (炎)	×ほのう
お <u>お</u> きい (大きい)	×おうきい
と <u>お</u> い (遠い)	×とうい
と <u>お</u> (+)	×とう

##### じのグループ

じ <u>め</u> ん (地面)	×ぢめん
ぬの <u>じ</u> (布地)	×ぬのぢ

##### ぢのグループ

はな <u>ぢ</u> (鼻血)	×はなじ
ち <u>ぢ</u> む (縮む)	×ちじむ
そ <u>ぢ</u> から (底力)	×そじから
ま <u>ぢ</u> か (間近)	×まじか

##### ずのグループ

ず <u>が</u> (図画)	×づが
り <u>ゃくず</u> (略図)	×りゃくづ
こう <u>ず</u> (構図)	×こうづ

##### づのグループ

つ <u>づ</u> み (鼓)	×つずみ
つ <u>づ</u> く (続く)	×つずく
た <u>けづ</u> つ (竹筒)	×たけずつ
み <u>かづ</u> き (三日月)	×みかずき

##### その他

け <u>い</u> かく (計画)	×けえかく
い <u>う</u> (言う)	×ゆう

(^\_^)/ ほかにまようことばがあれば調べておこう!

(7) 略図 (6) 続く (5) 底力 (4) 地面 (3) 計画 (2) 氷 (1) お父さん

りゃくづ	りゃくず	つづく	つづく	そこぢから	そこじから	じめん	ぢめん	けいかく	けえかく	こおり	こうり	おとおさん	おとうさん
( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )

① 次のことばをすべてひらがなに直し  
たとき、正しい方に○を書きなさい。



②

次のことばをすべてひらがなに直したとき、□に入る文字を書きなさい。

- (1) 遠い ↓ と □ お い
- (2) 布地 ↓ ぬの □ じ
- (3) 縮む ↓ ち □ ぢ む
- (4) 三日月 ↓ みか □ づ き
- (5) 図画 ↓ □ ず が
- (6) 道徳 ↓ ど □ う とく
- (7) 言う ↓ □ い う

コラム

「ひらがな表記の決まり」

今回紹介した、間違いやすいひらがな表記は、ある一定の決まりがあります。

・「う」と「お」のグループ

こちらは、どちらもその前にくるひらがなが「才段」の音になっています。

- おとうさん (お父さん) ↓ と (TO)
- どうとく (道徳) ↓ ど (DO)
- こおり (氷) ↓ こ (KO)
- とお (十) ↓ と (TO)

では、「う」と「お」は何で違っているのか、疑問に思うかもしれません。これは、昔のひらがな表記(歴史的仮名遣い)の違いによります。「お」になっているものは、昔は「ほ」を」と表記していました。「こおり」は「こほり」、「とお」は「とを」だったのです。

・「じ」と「ぢ」「ず」と「づ」のグループ

こちらは、主に「ちぢむ(縮む)」「つづく(続く)」のように同じ音の連呼による場合と、「そこちから(底力||底+力)」のように二語の連合による場合に濁音になっています。

それ以外には、漢字にもとから濁った音読みを持つているものもあります。「地」は「じ」、「図」は「ず」と音読みするので、「じめん(地面)」「ぬのじ(布地)」「ずが(図画)」「りやくず(略図)」のようになります。「地」には「ち」という音読みもあるので、「地面」を「ぢめん」と書いてしまいそうですが、注意しましょう。

### ★★ ポイント ★★

### カタカナ表記の一覧 いちらん

#### カタカナ五十音表

ン ワ ラ ヤ マ ハ ナ タ サ カ ア  
 (キ) リ ミ ヒ ニ チ シ キ イ  
 ル ユ ム フ ヌ ツ ス ク ウ  
 (エ) レ メ ヘ ネ テ セ ケ エ  
 ヲ ロ ヨ モ ホ ノ ト ソ コ オ

#### 書き間違いやすいカタカナ まちが

ツ ㄱ ㄴ  
 (例) キリン ソプラノ

ク ㄱ  
 (例) ワクチン

エ ヌ  
 (例) エプロン ユニット

ツ ㄱ  
 (例) シーツ

※「キ」と「エ」は歴史的仮名遣いの表記。  
 ひらがなでは「み」「ぬ」と表記する。

(例) エプロン ユニット

※書く方向に注意!

#### 長音 ちょうおん

※カタカナでは、長くのばす音を「ー」(長音)で表す。

(例) テーブル ラーメン  
 フルーツ コピー

#### 擬音語 ぎおんご

擬音語：物音や生き物の鳴き声などをまねてつくったことば。  
 カタカナで書くことが多い。

(例) トントン カチカチ ザーザー  
 パチパチ チクタク ワンワン  
 グツグツ ゴロゴロ シャリッ



#### 日常よく用いられる外来語の例 がいらいご

外来語：外国語から取り入れられたことば。基本的にカタカナで書く。

(例) ピアノ ゼリー チェック デザイン メッセージ プラスチック  
 バレエ ジュース スイッチ タクシー シャッター バドミントン  
 ツアー コーヒー メンバー スタジアム デュエット ファッション  
 ユーロ オフィス ガソリン カルシウム ボランティア ダイジェスト

(3)

タチ

ツ

テト

(2)

サ

シ

スセソ

(1)

アイウ

エ

オ

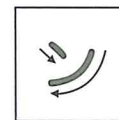
あてはまるカタカナを書きなさい。

②

五十音表にしたがって、次の□に

(2)

ん



( )

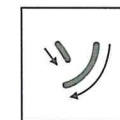
( )

( )

( )

(1)

そ



( )

( )

( )

( )

表すものに○を書きなさい。

①

次の矢印のうち、正しい書き方を

次のことばをカタカナに直して□に書きなさい。

- (1) がそりん
- (2) ふあつしよん
- (3) らあめん
- (4) わくちん
- (5) ちえつく
- (6) ぼらんていあ
- (7) ちくたく
- (8) ゆにっと

ガソリン	ファッション	ラーメン	ワクチン	チエツク	ボランテイヤ	チクタク	ユニット
------	--------	------	------	------	--------	------	------

※「ソ」と「ン」、「シ」と「ツ」の書き分けに注意！



## 「ロラム

カタカナってどうやってできた？

カタカナの成り立ちなは漢字と関係しています。漢字は、紀元前一世紀ごろ中国から日本に伝えられました。その当時の日本には文字はなく、この漢字を使って日本語を書き表そうとしました。そして、日本のことばに、漢字の音をあてはめて書き表そうとしてできたのが、「万葉仮名」(『万葉集』などに見られる表記)です。

仮名といえども、画数の多い漢字なので、書きこんだりするのふべんに不便でした。そこで、「止」を「ト」などと漢字の一部を使つて簡単かんたんに書くようになり、平安時代の初めにカタカナができたのです。

〔カタカナのもとになった漢字〕

ア(阿)	イ(伊)	ウ(宇)	エ(江)	オ(於)
カ(加)	キ(幾)	ク(久)	ケ(介)	コ(己)
サ(散)	シ(之)	ス(須)	セ(世)	ソ(曾)
タ(多)	チ(千)	ツ(川)	テ(天)	ト(止)
ナ(奈)	ニ(二)	ヌ(奴)	ネ(祢)	ノ(乃)
ハ(八)	ヒ(比)	フ(不)	ヘ(部)	ホ(保)
マ(末)	ミ(三)	ム(牟)	メ(女)	モ(毛)
ヤ(也)	ユ(由)	ル(流)	レ(礼)	ロ(呂)
ワ(和)	ヰ(井)	エ(恵)	ヲ(乎)	

\*曾は曾の俗字、祢は禰の俗字、與は与の旧字



#### ★★ ポイント ★★

#### 漢字の部首－その1－

##### 亻 (にんべん)

人の状態・動作に関係する意味を表す。  
※「亻」は「人」がへん(偏)にあるときの形。



人 + 犬 = 伏

犬が尾をまいて人のそばにうずくまる。→伏せる。

(例) 休 伝 作 依 値 偉 備 儀

##### 木 (きへん)

木の種類・状態に関係する意味を表す。



= 林

林：たくさんの木が並び生えている。



= 森

森：木が多い。

(例) 机 枝 柄 根 梅 植 横 機



へん(偏)：漢字の左側

##### 魚 (うおへん)

魚の種類・状態に関係する意味を表す。



= 魚

さかなを描いて作った字。

(例) 鮎 鮭 鮫 鯽 鯉 鯨 鯛 鰻

※鯨は哺乳類だが、昔の人が海に住んでいる鯨を魚の一種と考えたのでうおへんがつく。

##### 忄 (りっしんべん)

心の動き・働きに関係する意味を表す。  
※「忄」は「心」がへん(偏)にあるときの形。



心 + 亡 = 忙

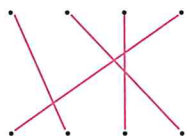
平常心を失うくらいいそがしい。

(例) 性 怖 悟 悩 情 惜 慌 慣

#### ②

次の漢字の部首と部首名が正しくなるように、上の段と下の段を線で結びなさい。

鯉 柄 悩 依



にんべん  
うおへん  
りっしんべん  
きへん

にんべん きへん うおへん りっしんべん

(4) 人の状態・動作に関係する意味を表す。

にんべん

(3) 心の動き・働きに関係する意味を表す。

りっしんべん

(2) 魚の種類・状態に関係する意味を表す。

うおへん

(1) 木の種類・状態に関係する意味を表す。

きへん

#### ①

次の説明にあてはまる部首名を、後のから選んでそれぞれに書きなさい。



③ 次の各組の  に共通する部首を入れて漢字を完成させ、下の  にその漢字を書きなさい。

(1) 義・木・韋

(2) 几・支・幾

(3) 青・吾・荒

(4) 直・每・黄

植	情	机	儀
梅	悟	枝	休
横	慌	機	偉

④ 次のそれぞれの  に共通して入る漢字を、後の  から選んで書きなさい。

(1) 格 質 可能

(2) 文 品 戦

(3) 新 度 明

慣性 根作伝 性鮮

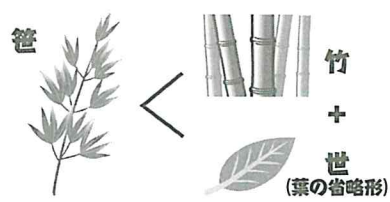
コラム 漢字ってどうやってできた？

漢字の起源は、古代中国の甲骨文字だといわれています。甲骨文字はものの形をかたどって作られた文字(象形文字)というので、カメの甲羅などに刻まれました。はじめは絵や図形のような形でしたが、それが記号化され、簡略化され、実用的な文字になりました。

漢字は日本に伝わってから、日本のことばに合わせて発展しました。たとえば「春」は、中国人の発音にまねて「シュン」と読んでいましたが、日本のことばをあてはめて「はる」と読むようになります。また、表現したい事柄にあてはまる漢字がない場合が出てきたので、日本で新しい漢字を考えて作りしました。たとえば、「畑(火)」と「田」で山野などを焼いて作る耕作地、「働(人)」と「動」で「はたらく」などです。このように、もともと中国語にはない日本製の漢字を「国字」といいます。国字は訓読みしかないので多いのですが、「働」は「ドウ」の音があり、いつのまにか中国でも使われるようになりました。

〔その他の国字の例〕

- 込…「入(すすむの意味)」と「入(はいる)」を合わせて、物が入りこむこと。
- 峠…「山」と「上(のぼる)」と「下(くだる)」を合わせて、山道の上り下りの境。
- 塀…「土」と「屏(かきねの意味)」を合わせて、家のまわりを囲う壁。
- 笹…「竹」と「世(葉の省略形)」で竹の葉。



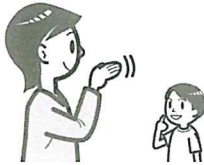


### ★★ ポイント ★★

### 漢字の部首－その2－

#### 扌 (てへん)

手の動作に関する意味を表す。  
※「扌」は「手」がへん(偏)にあるときの形。



手+召(よびよせる)

= 招

手でまねき寄せる。

(例) 打 折 抱 指 接 授 探 換

#### 扌 (つちへん)

土や地面に関する意味を表す。



土+曾(かさねる)

= 增

土を積み重ねる。→ふえる。

(例) 地 均 城 堀 場 塩 境 壊



へん(偏)：漢字の左側

#### 言 (ごんべん)

ことばに関する意味を表す。



言(ことば)+平(たいら)

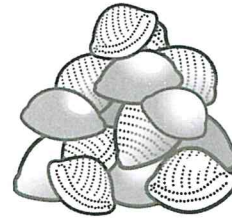
= 評

公平に判断したことば。

(例) 計 記 許 試 語 説 認 議

#### 貝 (かいへん・かい)

財宝や貨幣に関する意味を表す。  
※昔、貝はお金の代わりとして使われた。



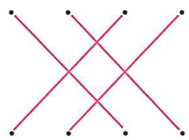
貝(お金)+才(積み重ねる)

= 財

お金がふえる。→<sup>あきな</sup>商う。

(例) 販 貯 賊 賜 貨 貴 貿 質

賊 計 塩 授



ごんべん  
かいへん  
てへん  
つちへん

② 次の漢字の部首と部首名が正しくなるように、上の段と下の段を線で結びなさい。

てへん つちへん ごんべん かいへん

(4) ことばに関する意味を表す。

ごんべん

(3) 手の動作に関する意味を表す。

てへん

(2) 財宝や貨幣に関する意味を表す。

かいへん

(1) 土や地面に関する意味を表す。

つちへん

① 次の説明にあてはまる部首名を、後のから選んでそれぞれに書きなさい。



③ 次の漢字に（ ）内の部首を足してできる漢字を□に書きなさい。

- (1) 義 + (ごんべん) 〓 議
- (2) 旨 + (てへん) 〓 指
- (3) 化 + (かい) 〓 貨
- (4) 成 + (つちへん) 〓 城

④ 次の各組の■に共通する部首を入れて漢字を完成させ、下の□にその漢字を書きなさい。

- (1) ■丁・包・妾
- (2) ■宁・易・才
- (3) ■竟・易・也
- (4) ■忍・午・吾
- |   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| 打 | 貯 | 境 | 認 |
| 抱 | 賜 | 場 | 許 |
| 接 | 財 | 地 | 語 |

## コラム 熟語の成り立ち

「創造」という熟語は、次のどの熟語と同じ成り立ちをしているでしょうか。

- ① 明暗 ② 道路 ③ 新作 ④ 読書 ⑤ 頭痛

熟語を作っている一つ一つの漢字の意味と関係を考えてみます。「創造」は「創」も「造」も「つくる」という意味で、意味が似ている漢字の組み合わせになっています。選択肢の熟語は次のような成り立ちをしています。

① 明暗 〓 「明」るい ↔ 「暗」い

(意味が対になる漢字の組み合わせ)

② 道路 〓 「道」も「路」も「みち」という意味

(意味が似た漢字の組み合わせ)

③ 新作 〓 「新」しい「作」品

(前の漢字が後の漢字を修飾する関係)

④ 読書 〓 「書」を「読」む

(後の漢字が前の漢字の目的や補足になる関係)

⑤ 頭痛 〓 「頭」が「痛」い

(前の漢字と後の漢字が主語・述語の関係)

こうして考えると、「創造」は「②道路」と同じ成り立ちの熟語だとわかります。



書を読む

正解数

組 番 名前：

問 / 12問

#### ★★ ポイント ★★

#### 漢字の部首 - その3 -

金 (かねへん)

金属に関する意味を表す。



金 + 名 = 銘

金属に名前をきざむ。

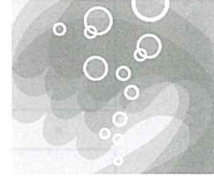
(例) 針 鉄 銀 銭 銅 録 鏡 鑑



へん (偏)：漢字の左側

氵 (さんずい)

水の状態・性質に関する意味を表す。  
※「氵」は「水」がへん(偏)にあるときの形。



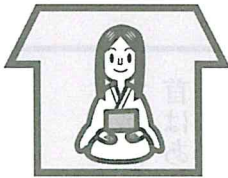
水 + 包 = 泡

空気をつつんだ水の膜。

(例) 沢 河 泣 注 海 浦 清 港

宀 (うかんむり)

家や屋根に関する意味を表す。



宀 (屋根) + 女

= 安

女の人が家の中で静かに座る。→やすらか。

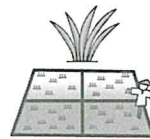
(例) 守 実 宙 宝 家 宿 寒 富



かんむり (冠)：漢字の上側

艹 (くさかんむり)

草の種類・状態に関する意味を表す。  
※「艹」は、草が並んで生えているさまを表した「艸」がもとの形。



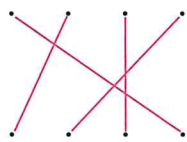
艹 (くさ) + 田

= 苗

田に生えた小さな草。

(例) 芝 花 芽 茂 茶 菜 蔵 薬

泡 鑑 宿 芝



さんずい  
うかんむり  
くさかんむり  
かねへん

② 次の漢字の部首と部首名が正しくなるように、上の段と下の段を線で結びなさい。

うかんむり かねへん さんずい くさかんむり

(4) 水の状態・性質に関する意味を表す。

さんずい

(3) 家や屋根に関する意味を表す。

うかんむり

(2) 草の種類・状態に関する意味を表す。

くさかんむり

(1) 金属に関する意味を表す。

かねへん

① 次の説明にあてはまる部首名を、後の□に書きなさい。

③ 次の各組の  に共通する部首を入れて漢字を完成させ、下の  にその漢字を書きなさい。

(1)  威・ 田・ 之

(2)  良・ 录・ 失

(3)  玉・ 畠・ 寸

(4)  化・ 楽・ 余

(5)  巷・ 立・ 每

蔵  
・  
 苗  
・  
 芝

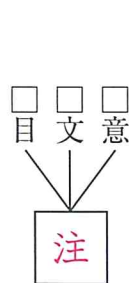
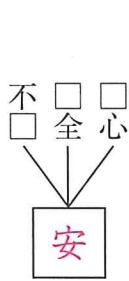
銀  
・  
 録  
・  
 鉄

宝  
・  
 富  
・  
 守

花  
・  
 薬  
・  
 茶

港  
・  
 泣  
・  
 海

④ 次のそれぞれの  に共通して入る漢字を、後の  から選んで書きなさい。



注 英 茂 安

## コラム 「冠」

STEP5では、「うかんむり」と「くさかんむり」について学習しましたが、左の例のように、他にも「かんむり」の部首はあります。

いろいろな部首があるので、漢字を調べるときに迷うことがあるかもしれません。たとえば、「空」という漢字です。「うかんむり」にもみえますが、辞書を引くと「あなかんむり」に分類されています。

なぜ、「あなかんむり」なのでしょう。 「空」は、

意味を表す「穴」+音を表す「工」(コウ)

から成り、ドーム状の穴にみえる「空」を表していると考えられます。このように、漢字の成り立ちが「穴」に関係しているので、「空」は「あなかんむり」に分類されます。

### 「その他の「かんむり」の例

- (一) わかんむり……冗・写・冠など
- (耂) おいかんむり……老・考・者など
- (宀) あなかんむり……究・突・窓など
- (竹) たけかんむり……笑・第・答・築など
- (雨) あめかんむり……雪・雲・電・震など
- (土) なべぶた……亡・交・京・亭など
- (死) はつがしら……発・登など
- (四) あみがしら……罪・署・置・罰など

※(一)内は部首。それぞれの成り立ちを調べてみよう！  
※部首は『ベネッセ新修漢和辞典』によります。



正解数

組 番 名前：

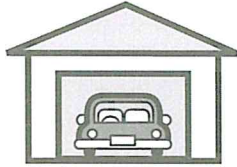
問/13問

### ★★ ポイント ★★

### 漢字の部首—その4—

#### 宀 (まだれ)

建物・屋根に関する意味を表す。



宀 (家) + 車

= 庫

車を入れておく家。  
→物を入れる「くら」。

(例) 序 床 店 府 度 座 庭 廐

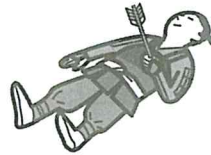


たれ(垂): 漢字の上から左

#### 疒 (やまいだれ)

病気に関する意味を表す。

※「疒」は人がベッドに寝ている姿を表す。



疒 + 矢 = 疾

矢にあたって病床で苦しむ。  
→やまい。

(例) 疫 症 疲 病 痛 療 癖 癒

#### 灬 (れんが)

火や熱に関する意味を表す。

※「れっか」ともいう。「火」があし(脚)につくと「灬」となる漢字がある。



火 + 昭 (太陽があかるい)

= 照

日や火の光が明るくてらす。

(例) 点 烈 煮 焦 然 無 熟 熱



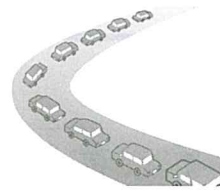
あし(脚): 漢字の下

辶 (しんにょう): 漢字の左から下

#### 辶 (しんにょう)

「行く」「進む」に関する意味を表す。

※「しんにゅう」ともいう。

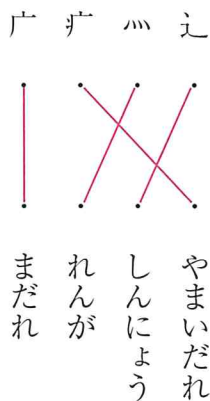


辶 (行く・進む) + 車

= 連

車がいくつも続いて道を進む。→つらなる。

(例) 近 逆 送 追 速 逐 通 透



段と下の段を線で結びなさい。

②

次の部首と部首名が正しくなるように、上の

やまいだれ れんが しんにょう まだれ

(4) 病気に関する意味を表す。

やまいだれ

(3) 「行く」「進む」に関する意味を表す。

しんにょう

(2) 火や熱に関する意味を表す。

れんが

(1) 建物・屋根に関する意味を表す。

まだれ

①

次の説明にあてはまる部首名を、後の□から選んでそれぞれ□に書きなさい。

③ 次の漢字に、□から適切な部首を選んで足し、別の漢字を作つて□に書きなさい。

- (1) 昭 照
- (2) 皮 疲
- (3) 予 序
- (4) 束 速

れんが しんによう まだれ やまいだれ

④ 次の各組の漢字に、共通する部首を入れて漢字を完成させ、下の□にその漢字を書きなさい。

- (1) 丙・矢・正 病 疾 症
- (2) 木・車・発 床 庫 廢
- (3) 執・者・然 熱 煮 然
- (4) 前・斤・甬 逆 近 通

コラム 重箱読みと湯桶読み

漢字には、音読みと訓読みがあります。二字の熟語の読み方は、当然その組み合わせになるわけです。組み合わせは、全部で四種類。

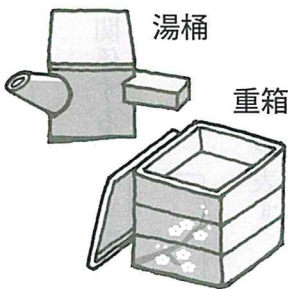
- ① 音読み + 音読み
- ② 訓読み + 訓読み
- ③ 音読み + 訓読み
- ④ 訓読み + 音読み

①は「空腹」「学習」など、②は「空手」「麦畑」など、比較的多く見られます。

③は「絵筆」「台所」など、④は「手帳」「見本」などがあります。実は③と④の読み方には、それぞれ名前がついています。③が「重箱読み」、④が「湯桶読み」です。

「重箱」↓「ジュウ（音読み）+ばこ（訓読み）」  
 「湯桶」↓「ゆ（訓読み）+トウ（音読み）」

ちなみに、「湯桶」というのは、そば屋さんでよく「そば湯をください」と頼むと出てくる、そば湯の入った入れ物のことです。





正解数

組 番 名前：

問 / 14 問

#### ★★ ポイント ★★

#### 漢字の部首－その5－

##### 口 (くにがまえ)

かこ 囲い・丸い形にかんけい関係する意味を表す。



口(ふとん)+大(人が大の字で寝る)

= 囧

人が安心して身をまかせる。  
→頼りにする、寄る。

(例) 囚 回 団 囲 困 固 国 園



##### かまえ(構)：漢字の外側

##### 門 (もんがまえ)

いりぐち 入り口・囲いかんけいに関する意味を表す。



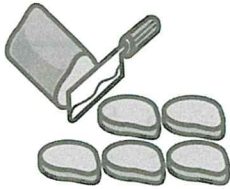
= 門

2枚の扉とびらを閉めた門の形を描いて作った字。

(例) 閉 開 間 閑 閣 関 閥 閫

##### 刂 (りっとう)

はもの 刃物や「切る・けずる」かんけいに関する意味を表す。  
※「刀」がつくりになると「刂」の形になる漢字がある。



歹(ばらばらになる)+刂(はもの)

= 列

ばらばらに切り分けて並べる。

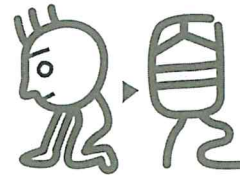
(例) 刈 判 刷 削 別 割 創 劇



##### つくり(旁)：漢字の右側

##### 頁 (おおがい)

人の頭や顔かんけいに関する意味を表す。  
※「頁」は、ひざまずいた人の頭の形を表す。

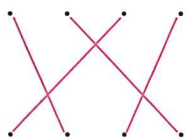


= 頁

ひざまずいた人の大きな頭の形を描いて作った字。

(例) 頂 預 頭 額 顔 題 願 顧

園 開 額 判



もんがまえ  
りっとう  
くにがまえ  
おおがい

② 次の漢字の部首と部首名が正しくなるように、上の段と下の段を線で結びなさい。

もんがまえ くにがまえ りっとう おおがい

(4) 人の頭や顔かんけいに関する意味を表す。

おおがい

(3) 入り口・囲いかんけいに関する意味を表す。

もんがまえ

(2) 刃物や「切る・けずる」かんけいに関する意味を表す。

りっとう

(1) 囲い・丸い形かんけいに関する意味を表す。

くにがまえ

① 次の説明にあてはまる部首名を、後の□から選んでそれぞれ□に書きなさい。



③ 次の漢字に（ ）内の部首を足してできる漢字を□に書きなさい。

- (1) 害 + (りつとう) 〓 □  
 (2) 彦 + (おおがい) 〓 □  
 (3) 木 + (くにがまえ) 〓 □  
 (4) 音 + (もんがまえ) 〓 □

④ 次の各組の漢字に、共通する部首を入れて漢字を完成させ、下の□にその漢字を書きなさい。

(5) 虞・夂・屮	(4) 日・各・伐	(3) 寸・井・玉	(2) 原・予・雇	(1) 肖・倉・另
劇	間	団	願	削
刈	閣	団	預	創
刷	閥	国	顧	別

コラム 生き物に関する部首

STEP3〜7で学習した部首のほかに、どのような部首があるでしょうか。ここでは、生き物に関する部首を集めました。

〔生き物に関する部首の例〕

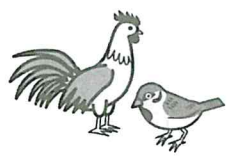
- 牛(牛)：うし(うしへん) 犬(犭)：いぬ(けものへん)  
 羊：ひつじ・ひつじへん 虫：むし・むしへん  
 豕：いのこ・いのこへん 酉：とりへん・ひよみのとり  
 隹：ふるとり 馬：うま・うまへん  
 鳥：とり・とりへん 鹿：しか

右の部首を使った漢字はそれぞれ、「物・猫・群・螢・豚・酒・雌・駅・鶴・麗」などがあります。

さて、右の部首の中には、「とり」とつくものがいくつあったでしょうか。「酉」「隹」「鳥」の三つです。

「酉」は、酒つぼの形を表し、十二支(年・時刻・方角を表すために使った十二種の動物の名前)の十番目の意味に用いられます。「隹」は、尾の短いぐりした小鳥の形を表しています。「鳥」は、尾の長い鳥を描いて作った字です。

同じ鳥の仲間でも、「雀」には「隹」が、「鶏」には「鳥」が使われているのは、部首の意味の違いが関係しているようです。



#### ★★ ポイント ★★

#### 文の組み立て

##### ● 主語と述語

**主語** 「何が・だれが」を表す文節。

**述語** 「どうする・どんなだ・何だ・ある(いる・ない)」を表す文節。

雨が 主語 降る。 述語 雨が = 「何が」 降る = 「どうする」

私が 主語 担当だ。 述語 私が = 「だれが」 担当だ = 「何だ」

花が 主語 きれいだ。 述語 花が = 「何が」 きれいだ = 「どんなだ」

※主語には「…が」だけではなく、「…は」「…も」「…こそ」などもあります。

妹は中学生だ。

私も掃除当番だ。

努力こそ大切だ。

① 次の文の——部に対応する主語を抜き出しなさい。

鳥居を潜ると杉の梢でいつでもふくろうが鳴いている。

※出題の都合により、表現を一部改めた箇所があります。

(夏目漱石『夢十夜』)

主語  
ふくろうが

② 次の文の——部に対応する主語を抜き出しなさい。

とうとう彼女は首をうなだれて私の方に向かってきた。

※出題の都合により、表現を一部改めた箇所があります。

(堀辰雄『幼年時代』)

主語  
彼女は

③ 次の文の——部に対応する述語を抜き出しなさい。

王妃さまは、あんまりハムレットさまを悪く言います。

※出題の都合により、表現を一部改めた箇所があります。

(太宰治『新ハムレット』)

述語  
言います

④ 次の文の主語と述語を抜き出しなさい。

洋一はある日慎太郎と、トランプの勝敗から口論をした。

(芥川龍之介『お律と子等と』)

※出題の都合により、表現を一部改めた箇所があります。

主語 洋一は  
述語 した

⑤ 次の文の主語と述語を抜き出しなさい。

そうしてその上に彩られる大都会の空気が、記憶の復活に伴う強い刺激と共に、濃く私の心を染め付けた。

(夏目漱石『こころ』)

※出題の都合により、表現を一部改めた箇所があります。

主語 空気が  
述語 染め付けた

⑥ 次の文の主語と述語を抜き出しなさい。

実をいうと、僕はこの高木という男について、ほとんど何も知らなかった。

(夏目漱石『彼岸過迄』)

※出題の都合により、表現を一部改めた箇所があります。

主語 僕は  
述語 知らなかった

ワンランク上の問題に挑戦

① 次の——部の動作をおこなっている主語に当たる文節を抜き出さなさい。

国王は驚きが静まると、「それッ！」と家来達に合図をして、鏡を差し上げながら鳥の方を照らしました。そのとたんに鳥は首を上げて、皆の方を見て、飛んで逃げようとしたが、鏡に照らされているせいか、翼がよく利かないで、ばたばたと地面へ落ちて来ました。そしてなお足で逃げようとするのを、強い家来達が大勢で取って押さえて、象の背中の中へ入れてしまい、籠の上にはさらに袋をかぶせました。

(豊島与志雄『夢の卵』)

※出題の都合により、表現を一部改めた箇所があります。

主語にあたる文節 鳥は

コラム 「文節とは？」

「文節」は、「文章」「段落」「文」といったことばの単位の一つで、意味を壊さない程度に文を区切った一つ一つのまとまりのことです。まとまりの最後に「ね」「よ」などのことばをつけて区切ることができます。

(例) 私は料理を作った。↓私はね、料理をね、作ったよ。  
※この文は三文節できています。

では、次の文はいくつの文節に分けられるでしょうか？

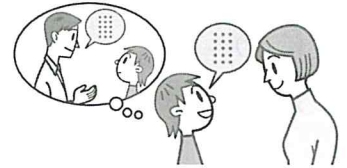
弟は、明日家族と隣の町に買いものに行く。  
(正解 七つ)



### ★★ ポイント ★★

## 敬語のはたらき

※敬語とは、人を敬う気持ちを表すことば。話し手(書き手)が聞き手(読み手)や話題の中心人物に対して敬意を表す。



**尊敬語** 人の動作を敬う表現。  
他人の動作に使う。

**謙讓語** 動作を受ける人を敬う表現。  
自分や身内の動作に使う。

**丁寧語** 聞いている人に対して丁寧に表示することば。

- ・尊敬語は「お(ご)…になる」、謙讓語は「お(ご)…する」を用いる。
- ・尊敬語と謙讓語には、特定の語を用いた表現がある。

尊敬語		謙讓語	丁寧語
おっしゃる 先生がおっしゃる。	言う	申し上げる／申す 先生に申し上げます。	…です／…ます 名詞の後は「です」、動詞の後は「ます」をつける。  あれは桜の木です。 名前を言います。 説明を聞きます。 学校へ行きます。 友達が来ます。
お聞きになる 説明をお聞きになる。	聞く	うかがう／承る／お聞きする その件についてうかがう。	
いらっしゃる／おいでになる 旅行へいらっしゃる。	行く	うかがう／参る 私がおあいさつにうかがう。	
いらっしゃる／おいでになる こちらへおいでになる。	来る	うかがう／参る あとで母も参ります。	



- ① 部分が尊敬語ならアを、謙讓語ならイを、丁寧語ならウを、( ) に書きいれなさい。
- (1) その件についてうかがう。(イ)
- (2) 説明を聞きます。(ウ)
- (3) 先生に申し上げる。(イ)
- (4) こちらへおいでになる。(ア)
- (5) あれは桜の木です。(ウ)
- ② 次の( ) にあてはまることばを、「」の意味になるように、後の( ) から選んで書きなさい。
- (1) 私がおあいさつに ( ) から選んで書かさい。
- (2) 先生が ( ) 。
- おっしゃる 申す うかがう おいでになる
- おっしゃる (言う)
- うかがう (行く)

③ 次の（ ）のことばのうち、正しいほうを○で囲みなさい。

(1) 私が（おっしゃる・**申し上げる**）ことをメモに控えてください。

(2) 姉が先生をお迎えに（おいでになります・**参ります**）。

(3) 先生は明日あちらへ（**いらっしゃる**・参る）はずだ。

(4) 私が注文を（お聞きになります・**承ります**）。

④ 次の「部を（ ）」の指示にしたがって直したとき、正しいものを選んで（ ）に書きなさい。

(1) わが家に来る。「尊敬語に」

来ます  
いらっしゃる  
参る

いらっしゃる

(2) 駅へ行く道を聞く。「謙讓語に」

うかがう  
お聞きになる  
聞きます

うかがう

### ワンランク上の問題に挑戦

① 次のことばを使って、主語と述語が整った文を作りなさい。

(1) おっしゃる

あなたのおっしゃることは、もっともです。

(2) うかがう

明日の朝、私がかがう予定です。



### コラム

#### 二重敬語

次の文の敬語は適切でしょうか。

「先生は、フェリーにご乗船になられた。」

答えは、不適切です。「ご…になる」で十分な敬意表現になっているにもかかわらず、尊敬の意味を表す「れ（助動詞「れる」の連用形）」がついています。これは、過剰な表現で、**二重敬語（過剰敬語）**と言われます。

正しくは、

「先生は、フェリーにご乗船になった。」または、

「先生は、フェリーに乗船された。」となります。

正解数

組 番 名前：

問 / 24 問

① 次のことばをすべてひらがなに直したとき、正しい方に

○を書きなさい。

(1) お父さん

おとうさん  
おとおさん

( ) ( )  
( ) ( )

(2) 氷

こおり  
こうり

( ) ( )  
( ) ( )

(3) 計画

けいかく  
けいかく

( ) ( )  
( ) ( )

② 次のことばをカタカナに直して  に書きなさい。

(1) がそりん

ガソリン

(2) ふあつしよん

ファッション

(3) ぼらんていあ

ボランティア

③ 次の各組の  に共通する部首ぶしゅを入れて漢字を完成させ、下の  にその漢字を書きなさい。

(1) 義・木・韋

儀

休

偉

(2) 几・支・幾

机

枝

機

(3) 青・吾・荒

情

悟

慌

④ 次の漢字に ( ) 内の部首を足してできる漢字を  に書きなさい。

(1) 義 + (ごんべん) 〓

議

(2) 旨 + (てへん) 〓

指

(3) 成 + (つちへん) 〓

城



⑤ 次の各組の **■** に共通する部首を入れて漢字を完成させ、下の□にその漢字を書きなさい。

(1) 艮・录・失

銀  
录  
鉄

(2) 玉・畠・寸

宝  
富  
守

(3) 化・楽・余

花  
薬  
茶

⑥ 次の漢字に、**□** から適切な部首を選んで足し、別の漢字を作って□に書きなさい。

(1) 昭

照

(2) 皮

疲

(3) 束

速

れんが しんによう やまいだれ

⑦ 次の各組の漢字に、共通する部首を入れて漢字を完成させ、下の□にその漢字を書きなさい。

(1) 肖・倉・另

削  
創  
別

(2) 寸・井・玉

団  
困  
国

(3) 日・各・伐

間  
閣  
闕

⑧ 次の( ) のことばのうち、正しいほうを○で囲みなさい。

(1) 私が ( おっしゃる ・ 申し上げる ) ことをメモに控えてください。

(2) 姉が先生をお迎えに ( おいでになります ・ 参ります ) 。

(3) 先生は明日あちらへ ( いらっしゃる ・ 参る ) はずだ。